

● 特集 口腔ケアについて

no.60
2017



- 新年のご挨拶
- 日赤TOPICS
- スタッフ紹介
- 健康ワンポイントアドバイス
「インフルエンザ」

〈病院の理念〉

人道に基づき
赤十字病院として
質の高い医療を提供します

〈基本方針〉

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救護や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します

日本赤十字社 伊勢赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒516-8512 三重県伊勢市船江一丁目471番2
TEL 0596-28-2171 FAX 0596-28-2965



新年あけまして おめでとうござい ます。

年越し参りや初詣を済ませ、気持ちも新たに新年を迎えられることと思います。

まず、昨年を振り返り、当地に関連した思い出深い出来事は何かと考えますと、やはり伊勢志摩サミット開催が頭に浮かびます。厳

戒態勢の下で開催されるサミットの期間中に当院に課せられた役割は、G7の首脳あるいは高官の急病の際に治療に当たる基幹病院として機能することでした。このため、開催数か月前から緊急時万全の体制が整えられるよう原則秘密裡の下で準備を進めてまいりました。

アメリカ大使館の医務官やホワイトハウスの医療班、シーケレットサービスのエージェントやフランス大統領府の医務官による数度の病院視察では、医療提供体制や警備の状況確認を行う作業が繰り返されました。そして、サミット直前には、通常行われる検査や治療、手術に至るまでできる限り休止しました。さらに、当院のスタッフの他、全国から麻酔科、感染症科、外傷外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科など、各分野における日本屈指の医師集団が参集し、院内で待

機し、非常事態時の多数傷病者発生時にも対応可能な体制で臨みました。また、シーケレットサービスも院内に常駐するという物々しさでした。幸い何事もなくサミットは閉幕を迎えましたが、病院がこのような非常事態体制を敷くことは極めてまれです。沖縄、洞爺湖に次ぐサミット開催地であるが故の貴重な経験であったと考えています。

そして、サミットを通して感じたことがもう一点あります。それは省庁の縦割りの弊害です。サミットでは、管轄の各省が関与していましたが、横の連携が十分に機能しないため、情報伝達、連絡網の構築に時間がかかっています。これはどこの国でも同様でホワイトハウス職員も自国の連携の不備を指摘していました。しかし、こと医療の世界ではこういった不備は許されるものではありません。特に伊勢志摩のような患者搬送に時間がかかるという地理的背景の下では、命に関わることになりかねません。当地で医療に携わる我々は、緻密なネットワークの構築とタイムラグのない連携を今以上に進める必要があります。特に、気温の低い冬の時期には、脳卒中や心筋梗塞といった脳や心臓の血管障害が原因となる疾患が高率に発症しま

伊勢志摩サミットを経験して 伊勢赤十字病院院長 楠田 司



す。この血流障害によっておこる機能不全を完全に元に戻すためには発症から治療までの時間を短くし、できるだけ早くから治療を開始することが重要です。

当院の使命は、患者さんが伊勢志摩医療圏のどこに住んでいようと、適時に高度な医療を提供し、健康を取り戻して頂くことです。そのためには、各医療機関と情報通信技術

(ICT : Information communication technology) を始めとする先進的医療連携を

更に進めるとともに、地域の人々が疾病の予防や対策などの知識を深め、発症早期に受療行動に移れるように啓発活動を進めたいと考

えていきます。

今後とも伊勢赤十字病院にご理解ご協力の程よろしくお願ひいたします。

口腔ケアについて

周術期口腔機能管理

お口の中には細菌がおよそ4000億個存在すると言われているをご存知でしょうか？その細菌が歯の周りの組織に感染すると歯周病になります。近年、歯周病は全身疾患との関連が報告されており、歯周病がひどくなると糖尿病や心疾患、早産などを引き起こす可能性や、手術前後や放射線・抗がん剤治療時にも後述のとおりお口の中の状態が悪いと不都合が生じるため、注意が必要です。

国立がん研究センターによると平成28年のがん罹患者数予測は101万200例（男性57万6千100例、女性43万4千100例）。平成28年のがん死亡数予測は、37万4千人（男性22万300人、女性15万3千700人）と年々増加の一途をたどつており、平成24年のがん対策推進基本計画に「がん患者への口腔ケアの推進」が明記され、同時にがん患者の「周術期口腔機能管理料」が初めて歯科保険収載されました。「口腔ケア」とは主に御自身で行う歯磨き・うがいの他、歯科医師・歯科衛生士が専門的器具等を用いて行う口腔清拭や義歯の調整、拔歯や虫歯治療、咀嚼・摂食・嚥下のリハビリ、歯肉・頬部のマッサージ、口腔乾燥予防等を行うことで口腔の機能を健全に維持するとの総称です。

このような動きを背景に医科歯科連携による周術期口腔機能管理が推進されています。「周術期口腔機能管理」とは全身麻酔の手術前後や抗がん剤・放射線治療時、最近では終末期治療（緩和ケア）時も含めてお口の中の状態を健康に保ち維持するということです。

当院では平成24年度より周術期口腔機能管理を実施していますが、平成27年5月より、更に充実した周術期口腔機能管理を実施しております。

周術期口腔機能管理の有用性

【全身麻酔前後の口腔管理】

全身麻酔時には挿管チューブと一緒に肺を気管支に挿入します。チューブは通常口腔内より挿入するため、口腔内が汚染された状態で挿入されると、細菌が肺に入ってしまうことがあります（図1）。更に手術前後は呼吸も不安定なため誤嚥性肺炎の原因となることがあります。よつて口腔内を清潔に保つことが重要となります。

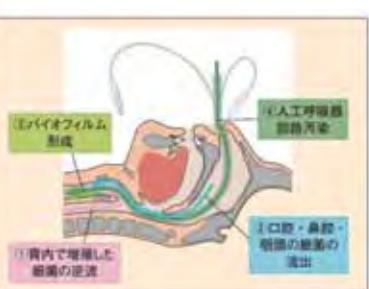


図1: 気管内挿管のイラスト



図2: 手術時に装着するマウスピース

また、挿管時には歯牙損傷が起ることもあるため、必要に応じて歯牙保護のマウスピースの作製も行います（図2）。



顎骨骨髓炎

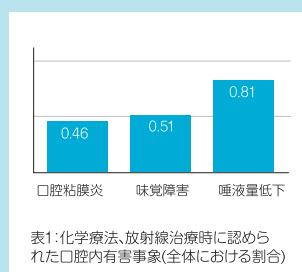
がんの骨転移や骨粗鬆症等の疾患に用いられる薬剤の使用や放射線治療時に状態の悪い歯があると、顎の骨が壊死してしまうことがあります。このような状態を顎骨骨髓炎（顎骨壊死）と言います（図4）。どのような薬剤の使用前や放射線治療前には状態の悪い歯を抜歯したり、歯石除去や口腔ケアなどによってお口の中の環境を整える必要があります。



図4: 放射線治療によって誘発された顎骨壊死

口腔乾燥、味覚障害

高い頻度で出現し、口腔粘膜炎や吐気等と共に、食事量が低下する原因となります。当院での発生頻度は表1のとおりです（表1）。



口腔粘膜炎(口内炎)

抗がん剤治療時に約50%、お口周囲の放射線治療時に約80%の方に出現します。重症化すると食事や会話が困難になり、がん治療自体が中止あるいは延期となることもあります。粘膜炎ができると歯磨きができなくなり、お口の中が汚染された状態が継続すると粘膜炎に感染し治癒が益々遅れる可能性があります（図3）。



図3: 抗がん剤の副作用による口腔粘膜炎

【当院での口腔ケア】
抗がん剤治療・放射線治療（特に口腔周囲）時にはさまざまな副作用やトラブルが発生します。その中でも口腔内に関係するものは口腔粘膜炎、口腔乾燥、味覚障害、顎骨骨髓炎等があげられます。

当科では初診時に動揺歯のチェック（必要であればマウスピース作製）、手術前日や当日に歯石除去やPMT（専門器具を用いて行う歯の清掃）を行っております。
抗がん剤治療や放射線治療の際には粘膜炎等のお口の状態によって適切なうがい薬を処方し、保湿剤の選択、味覚障害への対策等も行つております。



（歯科口腔外科 岩本哲也、野村城二）

ます。あまり状態の良くない歯は抜歯することもあります。
【口腔ケアのすすめ】
お口の中の状態によってはがんの治療自体が中止あるいは延期になります。したがって、病気と直接関係が無くてもがん治療や手術前後にお口の中の状態を良好にしておくことは極めて重要になります。

手術や治療の予定の無い健康な方も定期的にかかりつけ歯科を受診しお口をキレイに保ちましょう。いつまでも自分の歯で美味しく食事ができれば健康寿命も延びるはずです。

第4回 病院まつり「ゆずりは祭」 地域愛 ともに生きる、ともに支える、

力をいただきました。こうした人々によつて赤十字は支えられています。また、バザーの売り上げや会場内の募金は、「NHK海外たすけあい」に寄附しています。

「医療」を身近に、そして親しみやすい
地域を支える病院に

平成28年12月3日(土)に開催した「ゆずりは祭」は、予想を上回る3700名の来場者数となりました。今回のサブテーマは、「ともに生きる、ともに支える」でした。

私たちは地域の一員として、ともに生き、ともに支える仲間として、当院の役割を果たしていくたいと思っています。当日は、楽しい時間を過ごしていただきたいと思い、スタッフ一同、日頃の感謝の気持ちを込めて、すてきな笑顔で、来場の皆様をお迎えしました。

地域(地域住民)の人々に支えられて

病院まつりでは、「地域の方々と創ること」を大切にしており、今年も伊勢混声合唱団、マジック

ショー、伊勢市消防団、観光戦隊イセシマン、伊勢観光文化会館など地元の方々のご協力を得て病院まつりを盛り上げていただきました。また、当日は予想を上回る多くの方々にご来場いただきました。日頃のご協力や感謝の気持ちを伝える一日となりました。

赤十字三施設の連携、ボランティアに 支えられて

病院まつりでは、例年、日本赤十字社三重県支部や三重県赤十字血液センター、赤十字奉仕団の方々のご協力をいただき、活動を紹介しています。今回も赤十字無線体験、点字体験、非常食炊き出しなど、多くの地域のボランティアの方々にご協

医療(病気の予防・管理)に関する情報発信はもちろんのこと医療についての理解を深めていただきたいと考え、病院の普段は見ることのできない裏側を紹介しています。人気のドクターへりの見学を始め、各部門や課がそれぞれ工夫をこらしたおもしろく役に立つ企画を考え、おもてなししました。また、出店やステージでの出し物等、職員のいつもとは違う姿もみどころのひとつでした。

伊勢赤十字病院が地域の皆さんに信頼される病院であり続けるために、これからも職員一同、心のこもった医療を続けていきたいと思っています。



日赤TOPICS 災害救護訓練

日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練 ～さらなる連携強化を目指して～



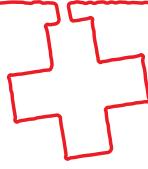
が合同で訓練を実施することにより、救護班員の知識・技術の向上に努めました。

三重県支部では、大規模災害の発生に備え、今後も引き続き訓練、研修の参加、災害救援物資の備蓄、災害救護用資器材の整備を行っていきます。

平成28年11月5日(土)、伊勢赤十字病院、伊勢赤十字老人保健施設「虹の苑」駐車場において日本赤十字社第3ブロック支部合同災害救護訓練を実施しました。



この訓練で、災害が発生した際の各防災関係機関への連絡・通報から一連の流れを確認することで連携強化を図るとともに、日赤各県支部救護班



スタッフ紹介



病院 院内で放射線を使った検査や治療を担当する谷貞さんは、いわば「放射線や画像を扱う検査技術者のプロ」。放射線治療、X線撮影、血管造影、MRIなど、さまざまな高度医療機器を扱っています。幼い頃、手



を骨折した際に撮つてもうつた自分のX線写真を見た時に感じた疑問や憧れが、この仕事に興味を持つたきっかけだと話します。その後、大学で診療放射線技師になるために学び、国家試験に合格し、憧れの診療放射線技師になりました。

三重県南部の地域医療を最前線で支える病院で働きたいと、2000年4月に伊勢赤十字病院へ就職。部内は24時間体制で稼働しており、一刻を争う重症患者も少なくないため、今でも救急時には緊張することがあるそうです。また、人体の内部を画像化しその後の治療に役立てるることはもちろん、がん治療の三本柱のひとつである放射線治療にも携わっています。「すぐに結果が出る治療ではありますんが、少しづつ痛みが取れたり、良くなっていくのを見るのは嬉しい」と谷貞さんはこの治療に関わる喜びを話します。現在、プライベートでは2人の子を持つお父さんである谷貞さん。子どもが所属する陸上競技クラブで地域の人々と交流を深めながら、子どもたちと一緒に身体を動かすことを何よりの楽しみにしています。

様々 みな症状を持つ患者さんと向き合いながら、臨床検査技師として日々働く福田さん。医師の指示に従い患者さんを検査する医療技術者であり、伊勢赤十字病院での勤務は3年目となります。進路について悩んでいた高校3年生の時、看護助手を務める母親から医療の現場には多様な職業があることを教えてもらっていたときに出会ったのが臨床検査技師でした。顕微鏡を使って検査している姿に憧れ、臨床検査技師になりました。

大きな病院でなりじろいろな症例を勉強できると、卒業と共に伊勢赤十字病院で臨床検査技術科学を専攻。大学4年次に国家試験に合格し、晴れて臨床検査技師になりました。

毎日、心電図や脳波、ECGなどを使って検査する生理検査部門に所属します。実際に業務を行ってみると教科書通りの結果ばかりではないため、その度に自分の頭で考え、先輩技師にも相談しながら学びを深めています。また、実際に患者さんとふれ合つことが多いため、患者さんからの相談にのることもしばしば。「検査結果が治療に役立つられたときにやりがいを感じます」とこの仕事への強い意志を語ります。休日には音楽ライブに行くのが大好きだといつ福田さん。学生時代の友人とライブで盛り上がるのが最高の気分転換だそつです。



部署紹介

医療技術部臨床検査課

臨床検査課は大別して、血液や尿などを検査する検体検査部門、心電図、脳波、ECGなど患者様自身を検査する生理検査部門、安全に輸血を行つたための検査や血液製剤を管理している輸血検査部門に分かれています。

また、さまざま感染症診断や緊急検査などにも対応。手術中のモニタリングや、24時間体制での心臓カテーテル治療時のモニタリングを行っています。医療情勢に変化が進む中で種々のニーズに対応するため、中長期的な視野に立ち、患者様を中心の検査を目指しています。

医療技術部放射線技術課

臨床検査課と同様、血液や尿などを検査する検体検査部門、心電図、脳波、ECGなど患者様自身を検査する生理検査部門、安全に輸血を行つたための検査や血液製剤を管理している輸血検査部門に分かれています。

健康ワンポイント アドバイス

インフルエンザを予防しよう

11月末より感染性胃腸炎が大流行し、インフルエンザも例年より早めに流行入り、感染予防がより一層重要なシーズンです。もしも、インフルエンザに感染した場合は、栄養を摂取し、ゆっくり休むことが一番重要です。発症後、3日間は特に感染力が強いので注意しましょう。

インフルエンザの種類

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが体内に入り込むことによって起こります。インフルエンザウイルスには大きく分けてA型、B型、C型と呼ばれる3種類があり、特にA型とB型の感染力はとても強く、大きな流行の原因となります。

インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫感染と接触感染の2種類があり、予防するには、こうした感染経路を絶つことが重要となります。

インフルエンザワクチンは効果がない？

高齢者では、インフルエンザを発症した場合の重症化を予防することができます。ワクチン接種してから効果があらわれるまでには、およそ2週間かかるといいます。結果は5カ月ほど続きますので、毎年流行前に接種しましょう！

冬の感染症を予防するために重要なのはこの2つ!!

マスクは正しく着用しましょう!

お口をカバー



一番重要なのは、実は手洗い!

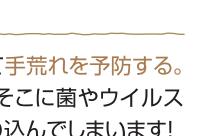
手あらいぐま



1. 帰宅時はすぐに手を洗うなどマメに手洗いをする。



2. 30秒かけて爪の先、指の間、手首までしっかりと洗う。



3. 洗った後は、保湿して手荒れを予防する。手が荒れていると、そこに菌やウイルスが入り込んでしまいます!



4. マスクを外した後や、鼻をかんだ後は、手を洗うか、消毒をしましょう。



A → Fをつなげてできる言葉を答えてください。
(答えヒント：マスクが必要品です。)

解答欄

A B C D E F



- 1 組織や団体などに加入するなります
- 2 主となる登場人物 ○○キャスト
- 3 発熱時に体がゾクゾクして寒気を感じることがあります
- 4 ○○○○ある演技
- 5 ○○○○乾季の反対は
- 6 土地の値段
- 7 志摩半島で一番大きな入海 リアル海岸が特徴です
- 8 代表曲は「なごり雪」です
- 9 マンガなどで登場人物のセリフを形で囲ったもの
- 10 実験、観察、調査などを詳しく調べること
- 11 日本代表女子サッカーチーム ○○○○ジャパン
- 12 雨が静かに降る様子
- 13 学問を教える人 先生の別名
- 14 木曽三川のひとつ
- 15 天照大御神が祀られる神宮があります
- 16 悪魔の世界
- 17 サナギが成虫になると
- 18 木曽三川のひとつ
- 19 天照大御神が祀られる神宮があります

- 20 雨水や湧水が流れる自然の水路
- 21 雨が静かに降る様子
- 22 子どもから大人に変わる時期をこう呼びます
- 23 いい加減な噂のこと
- 24 2020年オリンピックの開催地
- 25 虫歯を治療してくれます
- 26 熱で溶けて液体になること
- 27 恋愛関係にあるカップル
- 28 1. 鼻と口をしっかり覆う。隙間を作らない。
- 29 2. ブリーツのあるマスクは、ブリーツを下向きに広げる。
- 30 3. 使用後のマスクの表面は汚れているので、外すときは、ひもをもってはずす。1度使用したマスクは再利用しない。
- 31 4. 布マスクの予防効果はありません。
- 32 33

